

<第3号議案> 特定非営利活動法人ぐらす・かわさき 第3期中期計画 2010 - 2012

1. 期間

第3期中期計画の実施期間は2010年4月～2013年3月とする。

2. 目標

(1) 「遊友ひろば」を維持し、地域における役割を充実させる

- ・ 地域社会における人間同士のつながりを深めるため、誰もが気軽に立ち寄り利用できる場所として、将来にわたって「遊友ひろば」を維持する基盤を整える。
- ・ 地域における役割を果たすため、「遊友ひろば」の事業や運営方法を検証し、既存事業の充実と新規事業の検討・実施を行う。

(2) 中間支援組織としての機能を強化する

- ・ 地域社会の中から「新しい公共」を生み出すため、人材、資金、場所、情報などの地域資源の共有化をすすめて市民活動を支援する。
- ・ 新しい仕事のあり方や働き方を生み出すため、地域社会の人たちの意志と能力を引き出して、コミュニティビジネスを支援する。

(3) 活動の持続性を確保するための対策を講じる

- ・ 「遊友ひろば」という拠点と中間支援という機能を中心とした活動を、将来にわたって継続していくため、資金確保の方法などの対策について具体的な検討を早急に行い、実現可能なものから速やかに実施する。

3. 事業計画

(1) 中間支援組織の機能を強化する

市民活動支援

- ・ 市民活動団体同士または行政・企業との協働をすすめるため、団体に対する助言や制度的な提案を行う。
- ・ 「地域通貨たま」などの市民活動の自主性を尊重しつつ、それぞれの活動に対する必要かつ可能な支援を行う。
- ・ 市民活動団体に対する資金支援としての「ぐらすサポート基金」は、2010年度の最終助成をもって終了する。

コミュニティビジネス支援

- ・ 「たちばなブランド創出推進事業」に取り組み、その自立的な経営を目指して積極的な支援をする。
- ・ コミュニティビジネスに関心のある人たちをつなぐ機能をつくり、人材、資金、場所、情報などの面で事業の立ち上げを支援する。

(2) 「遊友ひろば」を維持し、地域における役割を充実させる

親子ひろば

- ・ 親子がくつろげる地域の居場所として親子ひろばを常設し、参加者による主体的な運営をめざす。

健康麻雀

- ・ 地域における仲間づくりの機会として健康麻雀を実施し、参加者による地域活動への参加を促す。

その他

- ・ 地域におけるさまざまな市民活動団体による利用を通して、みんなのひろばとしての共有感を高め、拠点の維持に対する協力を引き出す。

(3) 活動の持続性を確保するための対策の検討・準備を行う

受託事業

- ・ 法人の設立理念に即した事業を選び、これまでの実績を活かした独自性の高い事業を積極的に提案し、受託していく。

資金確保

- ・ 「遊友ひろば」の維持を目的とした財団法人を別に設立して、寄付の受け皿づくりをすすめる。